

ペンリレー 「熱くなれ」

甲府21ワイズメンズクラブ 興水 順雄

昨年3月でヴァンフォーレ甲府の社長を退任しました、暫くは新体制をバックアップするため、ヴァンフォーレに関わることになりました。今までよりはワイズの活動に参加できると思います。ヴァンフォーレ甲府の今季のスローガンは「熱くなれ！」です。昨年J2で9位となりJ1昇格は果たせませんでした。プレースタイルを攻撃的なパスサッカーに変えようと挑戦した2シーズン目でした。J2であればある程度は通用すると思惑はもろくも崩れ、途中監督交代をして復活の兆しがありましたが、J1昇格争いに最後まで加わることができませんでした。「足りないものは何だったのか？」と考えたときに、チームにもクラブにも熱さが足りなかったのではないかと。2001年の存続の危機からの脱出、2006年の初めてのJ1の時のような「必死で戦う」<sup>はとほし</sup>進める気持ちが、一体感が欠けていたように感じました。チーム力のベースは選手のポテンシャルです。そしてフォーメーション・戦術などのマネージメントが加わります。しかし、人間がやることですので「ハート」の部分も大きく影響します。地域のため、サポーターのため、家族のため、仲間のため、監督のため、クラブのため、そうした気持ちがあって始めて熱くなれると思います。そのベースを作るのがコミュニケーションだと思えます。今年、ラグビー大学選手権を制した明治大学も、コミュニケーションの苦手な若者が意思疎通を図ったことにより強くなったと聞いています。今年は大いにコミュニケーションを深め、熱く戦いJ1昇格を目指したいと思えます。皆様には、ぜひ小瀬の山梨中銀スタジアムに足を運んでいただき、熱い応援をお願いいたします。今年もヴァンフォーレ甲府をよろしくお願いたします。

(次号は松村豪夫さんの予定です)



山梨YMCA便り

「2月の最終水曜日はピンクシャツデーです！」

山梨YMCA 総主事 露木 淳司

ピンクシャツデーとは、全国のYMCAで数年前から本格的に取り組まれているいじめ撲滅運動です。きっかけとなったのは2007年に起きた、カナダの学生2人が起こしたある行動からでした。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」と言われていじめられたのです。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを買って来て、インターネット上で、「みんなでそれを着よう」と促したのです。呼びかけには数百名の生徒が応じて、学校中がピンク色となり、いじめはなくなったそうです。この話が世界中に広がり、今では70か国以上でいじめ撲滅運動として活かされるようになっています。最初にこの出来事があったのが2月の最終水曜日だったことから、毎年、この日にいじめについて考えようという運動が発展したのです。山梨YMCAでも、毎年この日にはピンクのものを身に付けたり持ってくるように子供たちに呼びかけ、いじめについて考える日とするようになりました。甲府ワイズと長野ワイズで連絡主事を務めさせていただいている私も、両ワイズからいただいたピンクのポロシャツをこの日に交互に着させていただいております。皆さんもこの日を覚えて、ピンクのものを身に着けてはみてはいかがでしょうか？ **2019年のピンクシャツデーは2月27日(水)**



会員在籍者数	30名	(2019年1月末現在)
1月の出席率		
例会出席数	24名	
第二例会出席者数	19名	(第二例会のみ3名)
メイキャップ	0名	
27÷30=9	90%	



ピンクシャツデーについて

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
1月の合計	22,136			
1月末迄累計	256,327	136,570	59,910円	800g
達成率	102.5%	273.1%	119.8%	16%



国際会長主題 : 私たちは変えられる  
 アジア太平洋地域会長主題 : アクション!  
 東日本区理事主題 : 為せば、成る  
 あずさ部長主題 : 未来はそれに備える人のものである  
 甲府21クラブ会長主題 : 世代を超えて、笑顔で奉仕

Moon Sang-bon (韓国)  
 田中 博之 (東京多摩みなみ)  
 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)  
 廣瀬 健 (甲府21)  
 野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ  
**2019年 2月会報**  
 強調月間  
**TOF**

今月の聖句

神は言われる。終わりの時に、私の霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者はまぼろしを見、老人は夢を見る。(使徒言行録2章17節)

山本 敦夫選

会長挨拶

一 草津クラブとの合同例会を楽しく！  
全員でアイデア出そう！！



● 2019年2月 例会プログラム ●

日時：2019年2月5日(火) 19:00～  
会場：山梨YMCA 青少年センター

- ①開会点鐘
- ②ワイズソング・ワイズの信条
- ③今月の聖句と一言
- ④会員スピーチ
- ⑤会長挨拶
- ⑥ゲスト・ビジター紹介
- ⑦ハッピーバースデー
- ⑧ワイズディナー
- ⑨ゲスト卓話 日本基督教団甲府教会牧師：金 明淑 様 題目「今日を生きる」
- ⑩諸報告
- ⑪YMCAの歌
- ⑫閉会点鐘

司会：葉袋勝彦  
 野々垣健五会長 一同  
 山本敦夫  
 古屋秀樹  
 野々垣健五会長  
 野々垣健五会長  
 寺田喜長書記  
 野々垣健五会長

甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五

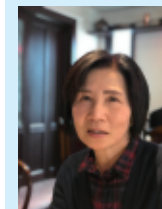


金明淑牧師と打合せの一幕

甲府クラブとの合同例会は70人の方々との集まりとなり、それぞれに楽しい時間を過ごしていただけたのでは、と思います。事務屋日の丸師匠の飄々とした味わいにほっこりし、飯田

さんのヴァイオリンの柔らかな音色に癒されました。飯田さん、演出に協力いただいたぶどうの木鶴田さん、小野さんに感謝です。神崎総主事のお話も、皆さん、それぞれに感じ入る点が多かった事と思います。世界のYMCAは一つ。日本のYMCAも一つ。今は300億円の事業体の塊なのです。これをどの位の大きさで保てるのか？神崎さんの双肩にかかっています。ワイズメンズの運動はYMCAと連動していると思う方、YMCAとは一線を画して奉仕活動をする方、色々な考えがあって良いのではないのでしょうか。要は「集まって楽しく、奉仕的な言動、活動を勉強しましょう」という事につきます。新緑の5月に予定している草津クラブとの合同例会は、新しい試みとして飯田の天竜峡ランデブーか、恵那の恵那峡ランデブーを新旧役員で検討しています。新緑の南信濃、或いは岐阜に集合となります。厳しい寒さが峠を越す頃の3月2日(土)には、甲府21存続の功労者、故・中島竹男さん宅の片づけのボランティアを計画しています。気苦勞せずに、時間のある方はお集まり下さい。動けるうちに動きましょう！勿論、「楽しく!!」が大事になります。■

金 明淑牧師のプロフィール



韓国生まれ、韓国育ち、韓国国立大学園芸学科卒業、農学士。  
1983年初来日、東京神学大学、大学院修了、博士前期課程修了。牧師として名古屋(子育て中)、横浜本牧恵み教会、函館教会。(日本中を歩き回っています)  
2000年4月から甲府教会 2019年4月から広島教会へ。気がつけば山梨は私の日本での生活の半分以上になっていました。長く住んだこの地を離れるのはとても寂しい事ですが、住めば都、新天地に向けて「想い出」を縛ながら、ちょっと不安を感じながら。山梨の方々には本当にお世話になりました。有り難うございました。

2月の誕生者

メン ネット 山縣譲治さん 2月6日  
 荻野優子さん 2月4日、鎌田千里さん 2月9日、饗場雅子さん 2月10日



合同例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長

1月合同例会報告

日時 2019年1月8日(火) 18:30~

会場 談露館

出席者 「メン」相川、赤根、飯田、荻野、小沢公、小沢智、鎌田、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村禎、松村豪、葉袋、山縣、米長 「メネット」相川、駒田、清藤、寺田、奈良田、野々垣、松村仁、米長 「ゲスト」神崎清一、小野興子、三井貴子、事務屋日の丸、飯田華代子、福田奈理子、鶴田和子、堀口廣司(敬称略)

甲府クラブ28名

今年度の合同新年例会は甲府21クラブの担当で、荻野メンの司会、野々垣会長の点鐘にて開会、野々垣、ピーター・マウントフォードの両クラブ会長が挨拶、露木山梨YMCA総主事により道路拡張にて移転する新会館の最終設計図の説明、間もなく建築着工との経過報告と建設資金寄付の依頼がありました。卓話は日本YMCA同盟総主事神崎清一氏の、『YMCAが青少年の希望となる日』~祈りの力に支えられて~と題して講演頂きました。「YMCAとは」問われるとワイズメンをも含めて良く解らないとの答えが多い。YMCAのブランド力を強め理解されることが改めて必要とし、2017年よりブランド革新を推し進めている。新しい社会概念“ポジティブネット”(誰もが生きやすい、希望ある豊かな社会を創造する社会安心網)のある豊かな社会を創るYMCAをアピールし社会貢献の地域基盤となる力を広げる。この活動を理解頂きワイズの皆さんにより支援頂き共に前に進んでいけますようにと。懇親会は後藤メンの食前の感謝祈祷、神崎氏の乾杯にて始まり両クラブ会員が懇親、事務屋日の丸氏のマジックに騙され、飯田氏のバイオリン演奏に癒され、楽しい合同例会はピーター甲府クラブ会長の閉会点鐘にて閉会しました。



美しい音色聴いてますか？



野々垣会長 年頭の挨拶



合同例会会場 ホテル談露館

1月第二例会ミニ二報告

【記録 相川】

「清藤メン快気祝い」は多くのメネットの参加を得て賑やかに開かれました。開始30分は野々垣会長から今後についての報告・指示があり(通常の会議)「清藤メン快気祝い」に突入、本人より12月に約10日間の入院、無事退院の運びになったと報告されました。本人曰く、「退院後甥が見え直ぐに酒になり、酒飲みの通常に戻った」。奥様からも「飲みたがって困る、あまり飲ませないでくれ」とスピーチが有りましたが清藤さんのテーブル周りは佐藤、功刀、寺田、葉袋、山本メン等錚々たるメンバー、飲まない訳にはいかない状態でした。まさに「清藤メン快気祝い」に相応しい「飲み会」でした。



飄飄と経過報告をされる清藤メン

神崎総主事より

「感謝」

日本YMCA同盟  
総主事 神崎清一



これまで歴史を重ねてこられた甲府ワイズメンズクラブ、ならびに甲府21ワイズメンズクラブ新年合同例会にお

招き頂き、その貴重なお時間を頂きましたことに心より感謝いたします。日頃は、山梨YMCAはもとより全国のYMCAの青少年の育成をはじめとした諸活動や運営に心を砕き、お支えいただいていますことにあらためて感謝し、このことが私たちYMCAにとって大きな励みになっていくことを、お伝えさせていただきます。

今、全国のYMCAは一致して、ミッションの再確認をしつつ事業や組織強化に取り組んでいます。今日そして今後、YMCAが果たす役割、期待される社会課題の解決への貢献などについて、あらためて市民の目線ととらえ直し取り組み、更には市民に伝わる発信力を強化することも重要であると考えて取り組んでいます。

これらを実現するための、スタッフ、指導者、ボランティアをはじめとした人財の確保、研修・育成が重要なポイントとなります。

そして、一人ひとりの存在が認められ、青少年育成をはじめ障がいのある方、高齢の方、多様な文化を背景とした方、自然災害などで突然弱くされた方々に寄り添うYMCAでありつづけます。言い換えますと「お互いを認め合い、高めあうポジティブネット」のある豊かで平和な社会を創ることがYMCAのミッションであります。

ワイズメンズクラブの皆様におかれましては、クラブ組織として共に社会課題に向けて貢献するものとして、今後ともお支えいただきますようよろしくお願いいたします。

そして、YMCA会員として大いに楽しんでいただき、ご活用もしていただき、更なる担い手となっていただきますこと願っております。

新しい一年、両クラブの皆さんにとって素晴らしいものとなりますように。



講演中の神崎日本YMCA同盟総主事

「富士五湖クラブ新年例会に参加して」

甲府21ワイズメンズクラブ 松村 豪夫

今年の富士五湖クラブ新年例会が、1月11日に富士山が正面に見える河口湖湖畔の「ホテル美富士園」で行われました。富士五湖クラブ側のワイズメン出席者は10名なのに対して、甲府21クラブ側は、廣瀬あずさ部長の公式訪問に随行して、野々垣会長をはじめ寺田メン、荻野メン、茅野メン、小澤公メン、松村禎メン、松村豪メンの8名が、押しかけて参加しました。例会では、富士五湖クラブ後藤会長の点鐘で始まり、チャーター時に甲府21クラブが贈呈した「ワイズソング歌詞フラッグ」を見ながら、ワイズソングを斉唱しました。例会後の懇親会では、おいしい料理を囲みながら、お互いの自己紹介をして親交を深めたり、それぞれが持ち寄った手土産を原資にしたビンゴゲームなどをして、21時前に我々甲府21クラブメンバーは退散しました。富士五湖クラブの面々はその後、泊り込みでカラオケを楽しんだようです。

富士五湖クラブは会員数が少ないのに(現在は11名)、東日本大会のホストクラブになったり、2005年のチャーター以来毎年、日本で最も高地(富士山5合目の佐藤小屋)で全国のワイズメンを集めた富士山例会を開催したり、障害者フライングディスク大会 in 郡内を主催したり(昨年で8回目)など、素晴らしい活動をしているクラブです。私たちのクラブでも学ぶことが多いです。これからも、山梨YMCAを支える兄弟クラブとして親交を図っていきたいと思います。

